



## 『白梅』

依然として新型コロナウイルス感染症への対応が続いていますが、「何ができるか」と必死に取り組んできたことが本校の感染症予防対策として形作られたことは成果だと捉えています。令和5年度は、感染症予防対策を適切に行いつつ、令和6年度に向けて「さらに、何をすべきか」と展開していくことを考えています。今回は以下の5点についてお伝えいたします。



- 1 儀式的行事（卒業式）に向けて** 区内公立学校と園は、区より1名の来賓を迎えることとなります。このことから、人数の制限をして他の来賓の参列も行います。合わせて卒業生の各家庭より2名、全在校生も一緒に参列させたいと考えています。尚、感染拡大・収束状況や教育活動の実施状況を踏まえながら、判断をしていきます。
- 2 学校行事（校外学習等）について** コロナ禍前の教育活動に修正を加え、9か年を見通した日頃の学習活動とつながる校外学習計画の作成を以下の方針に基づき計画を進めています。  
①宿泊を伴う学習は1泊2日として計画しています。②宿泊学習の前には、日帰りの校外学習、又は半日の学校近隣の校外学習を計画しています。③令和6年度の校外学習の実施形態については、令和5年度の感染拡大・収束状況や教育活動の実施状況を踏まえながら、2学期中を目安に判断してまいります。④授業を参観する機会は、感染拡大・収束状況や教育活動の実施状況を踏まえながら、今までの感染症予防対策を基にし、できるだけ多くつくりたいと考えています。
- 3 地域と繋がる教育活動について** 新宿区のインクルーシブな社会づくりの一助となるようにと規模を縮小しつつ、コロナ禍でも交流が途絶えないように工夫してきました。社会福祉協議会と新宿区にある様々な企業を結んだ『新宿CSRネットワーク』との交流授業や、西新宿四丁目町会との『交流の日』の授業は、本校の特徴でもあります。昨年の市ヶ谷にある大日本印刷株式会社との繋がりは、視線入力装置の寄贈を機に、敷地内にある『本と活字館』を校外学習の場として訪れることへ繋がりました。本校の教育活動とつながる相手をさらに開拓してまいります。
- 4 福祉・医療系教育機関、その他との連携・交流について** 令和5年10月にICTの活用について、区内公立学校に向けて区教育課題研究校として発表会を行います。この発表会を機に自立活動の充実にもつなげていきたく、福祉関係機関や医療系教育機関との連携や交流を行ってまいります。また、医療的ケアやスポーツ、学習について、都立肢体不自由特別支援学校と継続した交流を行ってまいります。感染症の状況にもよりますが、2月25日（土）の駒沢体育館でのハンドサッカー大会へ向けて、永福学園合同チームのための練習を毎土曜日を実施しています。
- 5 災害時の対応について** 災害用の蓄電池が区より提供され、各教室に設置しました。PTA・父母の会とも相談を密にしていきたいと思えます。

最後になりますが、10年ぶりの大寒波がやってきました。保護者・地域、関係機関の皆さま、くれぐれもお身体をいたわりつつ、ともに温かな季節の到来を願いたいと思えます。本年も本校の教育活動にご理解とご協力のほどよろしくお願いたします。掲載の写真は、神奈川県の大磯にある旧吉田茂邸を訪れた際に撮影したものです。重要文化財の兜門の前咲く白梅です。寒さの中で咲く白梅からは「しっかり咲いて、咲いた分だけ、周りが暖かくなったように感じられるだろ」と聞こえてきました。

## 「新宿 CSR ネットワークとの交流会」

小学部

1月17日(火)、「新宿CSR交流ネットワーク(ボランティア・社会貢献活動に取り組んでいる新宿区内の企業で構成された組織)」の方々が来校され、本校児童・生徒との交流会を行いました。これまで「新宿CSRネットワーク」の皆さんとは、クラス毎に手紙を通じた交流を2回行ってきており、この日が初めての対面交流となりました。交流会では、1組は「やさいつりゲーム」、2組は「風船はねつきゲーム」、3組は「UFOキャッチャーゲーム」、中学部は「ターゲットポッチャ」を企業の方々に体験していただきました。どのクラスも、企業の方と声を掛け合って一緒にゲームを楽しむ様子が見られ、お互いに充実した時間を過ごすことができました。引き続き、こうした活動を通して、地域に向けた本校児童・生徒への理解促進を図るとともに、児童・生徒が様々な仕事についての知識を深めていけるよう地域の企業で働く方々との交流を大切にしていきます。



## 「拡大支援会議を実施して」

支援部

保護者・障害者福祉課・学校の三者による「拡大支援会議」を12月22日(木)にオンラインで実施しました。

お子様とご家族の生活について整理した上で、課題となっている事項について障害者福祉課の担当の方に相談しました。

障害者福祉課の担当の方から、現状として利用できるサービスについてを丁寧に説明していただきながら、よりよい生活につながるサービスの提案をしていただくことができました。

「拡大支援会議」は、通常は小1・中1・中3の方を対象に1学期中に任意で行っていますが、必要に応じ、どなたでも開催できますので、適宜お問い合わせください。



## 「生徒会役員交流会」

中学部

12月23日(金)、第52回新宿区立中学校生徒会役員交流会が開催され、新宿区の中学校11校が参加しました。会場は、新宿区教育センターと新宿養護学校に分かれ、新宿養護学校の生徒は学校からオンラインで参加しました。今年度のテーマは、「つながり、かわり、わかり合い、輝く未来を創り出そう!!」です。各学校で今年度取り組んだ生徒会活動について紹介をしたり、グループ協議を行ったりして、生徒会活動の活性化を図りました。

新宿養護学校の生徒会活動の紹介では、あいさつ運動や緑の羽根募金、感染症予防啓発ポスター作り、給食もりもり運動等、今年度取り組んできた生徒会活動について、紹介しました。発表場面では、緊張感のある中、生徒会役員としての自覚と意欲をもって、一人ひとり発表することができました。

各校の生徒会活動の取り組みを知る、よい機会となりました。

## 研究部より

### 「個々の課題に向けたICT機器の活用」

中学部

中学部では、生徒一人ひとりの課題に応じてICT機器を積極的に活用しています。電動車いすの操作練習として、USBアーケードスティックの活用をしたり、自作した支援機器を使ってハンドサッカーのシュート課題に取り組んだり、生徒が達成したい課題に取り組んでいます。場面に応じて支援機器を活用することで、生徒のもつ力を最大限に生かすことができます。

<使用した支援機器の紹介>

#### ① アーケードスティック



PCと組み合わせてスティックを一方向にだけ動くよう設定して使いました。

#### ② ボールランチャー



ソレノイドという部品を使いました。スイッチを押すと蓋が開き、中に入っているボールが出てきます。